

概要版

豊能町 総合まちづくり計画

令和4(2022)年度 ▶ 令和13(2031)年度



豊能町

豊能町総合まちづくり計画とは？

1 どんな計画？

豊能町総合まちづくり計画は、10年後の豊能町のあるべき姿を考え、それに向かって住民ができること、行政が取り組むことを考えながら、“まちづくりの課題”を解決し、幸福に安心して充実した暮らしを送り続けることができるまちをめざす町の最上位計画です。

2 計画の構成は？

本計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3つで構成されています。それぞれで示している項目は以下の通りです。



3 計画の期間は？

基本構想と基本計画の期間は、令和4(2022)年度からの10年間で、基本計画については、中間年度にあたる令和8(2026)年度に必要な見直しを行います。

また、毎年度実施している事業評価を実施計画として、施策の実現に向け取り組みます。

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
基本構想 (10年間)									
基本計画 (10年間) ※令和8(2026)年度に必要な見直し									
実施計画		実施計画		実施計画		計画終了まで毎年見直し			

4 豊能町が抱える“まちづくりの課題”って？

“ひとづくり”に関する視点

- 合計特殊出生率が全国最下位
- 25年後には75歳以上人口が50%を超える
- もっと積極的な地域交流や住民参画が必要
- 医療体制の充実が求められている
- 障害福祉に対する満足度が低い



“ひとづくり”において解決すべき課題

- ・ 若年層の移住定住の促進
- ・ 子育て支援と教育環境の充実
- ・ 高齢者や障害者などの福祉サービスの向上
- ・ 地域で支え合い、助け合える地域福祉の推進
- ・ 医療環境の整備と地域医療の充実

“しごとづくり”に関する視点

- 町外に働きに出る人が多い
- 集客力のある観光資源や宿泊施設が少ない
- 農林業に対する意識が低下している
- 生産年齢人口の減少による生産力の低下が懸念される



“しごとづくり”において解決すべき課題

- ・ 新しい働き方への対応
- ・ 企業誘致などによる雇用の場の確保と商工業の振興
- ・ 効果的かつ利便性の向上に向けた土地利用
- ・ 農林業の人材確保と運営支援

“まちづくり”に関する視点

- インフラや法定外公共物の老朽化が進んでいる
- 公共交通への不満が多い
- 観光施策に対する満足度が低い
- 自治体 DX の推進や行財政改革が求められている



“まちづくり”において解決すべき課題

- ・ 住民同士の交流の活性化と、住民主体の活動への支援
- ・ 公共交通などの利便性の向上
- ・ 下水道や道路などの公共建造物などの整備と維持
- ・ 豊かな自然の保持と環境保全活動の推進
- ・ 新しい観光のあり方の検討
- ・ 自治体 DX の推進や ICT の取り入れによる効率的な行政運営

豊能町がめざす「まちの将来像」

まちの将来像

自然に抱かれた 多様性・創造性で未来が輝くまち とよの

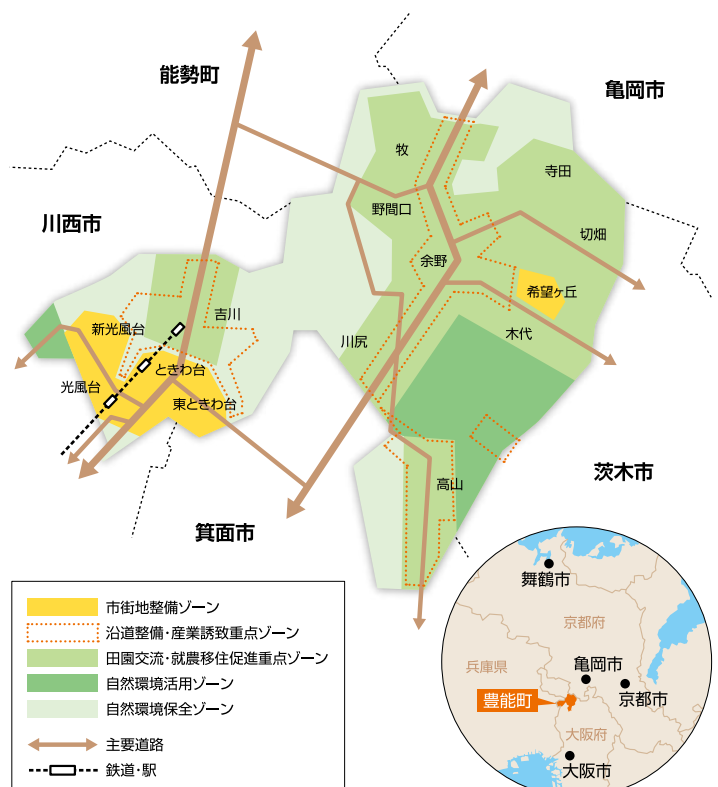
本町では、大阪府の中でも特に豊かな自然に囲まれている一方で、阪神地域や大阪市のベッドタウンとして住宅街の一面もある、住み良いまちです。これまでは、その良さに磨きをかけるための施策に取り組み、東西の両地区がそれぞれの魅力を磨き、2つの顔を持ったまちとして発展してきました。

本町では、東西それぞれが作り上げてきた魅力を融合させることで、農村と住宅街から生み出される多様性と創造性を大切に「新しい豊能町らしさ」をつくり上げ、その魅力に溢れるまちづくりに取り組んでいくことで、他地域にはない新たな価値を創出し、人口15,000人を維持し続けることを目標に、持続可能な地域づくりをめざしていきます。

土地利用構想

土地利用構想については、北摂地域の都市や亀岡市、その奥に広がる北近畿地域の都市との結びつきを強くしていくことが重要です。そのため、東西の幹線道路沿いの利便性の向上や企業の誘致、道路の整備など、周辺地域の状況に合わせた土地利用について検討していきます。

また、市街化調整区域内の整備の方向性を示すゾーニングを行うことで、まちの魅力を最大限に発揮させ、安全・安心に暮らすことができる利便性と快適性を備えた住環境をめざします。



3つの大きな考え方

都市×里山の融合による魅力

豊能町には、市街化区域であるニュータウンと市街化調整区域である農村があり、それぞれが別の魅力を持っています。今後新たなまちづくりを進めるには、再生可能な里山の資源や風景などを都市住民と共有し、里山資源をうまく利用して豊能にしかない魅力ある新たな価値を創出していくことが大切です。そして新たに生み出した価値を広域的に発信し、多くの人に訪ねてもらい、都市と里山の双方が融合することで、多様性・創造性に富んだ持続可能な自立したまちをめざします。



地域資源を活かした新しい仕事スタイルの挑戦

時間や場所に捉われない柔軟な働き方に注目が集まっています。本町では自然や景観をうまく利用して、民間との協働によるサテライトオフィスや起業家・フリーランサー向けの coworking スペースの整備など、新しいことへ積極的に挑戦します。また、テレワークとライフスタイルの充実が図れるような環境整備を行い、新たなサービスやビジネスモデルが生まれるワークスタイルのイノベーションを創造する豊能型の「新しい仕事スタイル」を実現します。



新しいまちの生活スタイルの創造

まちに住んでいる人、これから住もうと考えている人、訪れる人など様々な人にまちを好きになってもらうためには、豊能町ならではの新しい生活スタイルを一緒につくり上げていくことが必要です。身近な生活空間のリノベーションや、新しい憩いの場の創出、それらに関わる人たちとのふれ合いなどを通じて、多くの人にとって暮らしやすいまちづくりの実現を目指します。また、仕事・生活環境の両面から地域コミュニティを育て、地域コミュニティが新しいビジネスモデルを育むといった相乗効果を生み出します。



施策の体系

まちの将来像

基本指針

基本施策

自然に抱かれた多様性・創造性で未来が輝くまち
とよの

①

住民主役の
まちをつくり出す
“ひとづくり”

- ① まちの未来につながる教育の推進
- ② いつまでも健康でみんなが活躍するまち
- ③ 安心して子どもが産める環境づくり
- ④ まちを好きと思ってもらえる移住・定住促進

②

未来の活力を
生み出す
“しごとづくり”

- ① まちで働く人を応援
- ② 人や仕事を呼び込むテレワークの推進
- ③ 地域経済を循環させる
- ④ 地域産業を元気にする6次産業化

③

緑の中で
楽しく暮らせる
“まちづくり”

- ① 住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり
- ② 人が活躍できる地域コミュニティづくり
- ③ 低炭素社会の実現による持続可能なまちづくり
- ④ 交流人口の増加で新たな風土づくり

施策

主要な取組み

- | | |
|---------------------------|--|
| 1 地域とともにある魅力ある教育 | ①保幼小中一貫教育の実践 ②地域とともにある学校づくり |
| 2 子どもから大人まで。生涯、学習! | ①生涯学習の充実 ②「社会を生き抜く力」のある青少年の育成 |
| 3 人権に向き合うひとづくり | ①人権教育・啓発の推進 ②互いの多様性を認め合えるまちづくり |
| 4 いつまでも生きがいを持てる健康寿命延伸 | ①元気な高齢者が活躍するまち ②全世代へのポピュレーションアプローチで健康を意識したセルフケア |
| 5 安心して医療・介護が受けられる暮らし | ①高齢化率 50% 時代に対応した地域包括ケアシステムの構築 ②切れ目のない地域医療の構築 |
| 6 地域でみんながいきいきと暮らせる社会 | ①みんなで理解し支え合う。地域で支援する福祉の促進 ②だれもが笑顔で暮らせる障害者福祉の実践 ③多様なニーズに応える自然の中の小さな学びの場 |
| 7 安心できる出産と子育て環境 | ①子どものために充実した保育と親のための多様なサービスの提供 ②妊娠から産後ケアまで一人ひとりに寄り添った助産院の開設 |
| 8 子育て家庭へのサポート | ①妊娠期からの切れ目のない子育て相談支援体制の充実 ②子育て家庭の交流・つながりづくり |
| 9 まちのことを「好きになる」シティプロモーション | ①まちのファンを増やすシティプロモーション ②まちの資源や人を活かした、支え合い、助け合う地域イノベーションの創出 |
| 10 みんなが「住み続けたいくなる」定住促進 | ①公民連携による活気あるまちづくり ②魅力ある公園の利活用 |
| 11 若い人が「住みたいくなる」移住促進 | ①住宅の流通促進でめざせ空き家ゼロ ②空き家リノベーションで若者のまちへ |
| 12 賑わいを呼ぶ沿道整備 | ①沿道のポテンシャルを活かした地域経済の活性化 ②自然景観を活かしたまちの魅力でおもてなし |
| 13 まちなか起業家を応援 | ①既存商業地の活性化 ②持続可能な地域社会をつくるローカルベンチャーの創出 |
| 14 仕事づくりのための環境づくり | ①テレワークしやすい環境の整備 ②都会から仕事に来る自然に囲まれたコワーキングスペース |
| 15 新しい人と働き方の受け入れ | ①ベンチャー企業のための稼げる受け皿づくり ②多様な働き方の推進 |
| 16 地域でお金が回る仕組みづくり | ①豊能でつくり、豊能で売る。地域循環型経済の推進 ②地域新電力で新しいまちづくり |
| 17 地域にお金を呼び込む仕組みづくり | ①お金を生む、人がつどえる拠点トヨノステーション ②自然の中で見る・遊ぶ・食べる。ロケーションを活かしたスポットの創出 |
| 18 新しい農業でつくる「とよのブランド」 | ①地域と共創する高付加価値農産物の生産 ②みんなが笑顔になる農福連携の推進 |
| 19 「とよのブランド」をまちの魅力に | ①「とよのん×企業」で新しい町の特産品 ②農作物を守り命をいただく有害鳥獣の駆除と活用 |
| 20 「とよのブランド」でまちを元気に | ①農産物直売所で地産地消 ②農空間のポテンシャルを引き出す「まちづくり農業法人」 |
| 21 快適で住みやすい環境の整備 | ①まちづくりを支える交通サービスの提供 ②ICT・IoT技術によるスマートシティの実現 |
| 22 安全・安心なまちの基盤整備 | ①防災・減災対策の推進（防災意識の普及・啓発） ②老朽化する社会インフラの適正な維持管理 |
| 23 持続可能な行財政運営の推進 | ①自治体 DX の推進 ②効率的・計画的な行財政経営の推進 |
| 24 地域のつながりを活かしたコミュニティの活性化 | ①自立した地域コミュニティ活動がしやすい環境の整備 ②自分たちのまちは自分たちで。協働のまちづくり |
| 25 だれもが個性を發揮できる社会の実現 | ①だれもが町の人“財”。みんなが自分らしく活躍できるまち ②福祉のまちづくり推進 |
| 26 環境に優しいまちづくり | ①ごみの適正な処理と減量・資源化 ②ICTと自然が融合した低炭素なまちづくり |
| 27 豊かな自然を大切にすまちづくり | ①豊かな自然が育む動植物の保全 ②自然とふれ合える場づくり |
| 28 魅力ある観光資源の発掘と活用 | ①とよの探訪～歴史が語る豊能の魅力～ ②ハイカー・バイカー・サイクリストの聖地 |
| 29 交流人口増加への取り組み | ①情報発信と憩いの拠点づくり ②クラインガルテンでナチュラルライフ |



豊能町総合まちづくり計画 《 概要版 》

発行年月／令和4年3月
発行／豊能町
編集／まちづくり創造課

〒563-0292 大阪府豊能郡豊能町余野414番地の1
TEL：072-739-3412 FAX：072-739-1980
HP：<https://www.town.toyono.osaka.jp/>



計画の詳しい内容は
こちらから
ご覧いただけます。